



平成 30 年 4 月 20 日 立川市広報課

送付文書 計 2 枚

報道機関 各位

立川まつり国営昭和記念公園花火大会開催決定

立川市内で最大イベントの立川まつり国営昭和記念公園花火大会の開催が決定いたしました。

60 回目を迎える今年は、打上数を約 1,000 発増やし、総数約 6,000 発で実施することとしております。

一尺五寸玉や芸協玉、ワイドスターメインなど、趣向を凝らした花火が立川の夏の夜空を彩ります。

名 称 立川まつり国営昭和記念公園花火大会
組 織 主催 立川まつり国営昭和記念公園花火大会実行委員会
構成団体 立川市、立川商工会議所、立川観光協会
立川市商店街振興組合連合会
公益社団法人 立川青年会議所
国営昭和記念公園管理センター
共催 国土交通省関東地方整備局国営昭和記念公園事務所
特別協力 陸上自衛隊立川駐屯地
開催日時 平成 30 年 7 月 28 日（土）午後 7 時 20 分～8 時 20 分
予備日 7 月 29 日（日）
場 所 観覧場所 国営昭和記念公園 みんなの原っぱ、ほか
打上場所 陸上自衛隊立川駐屯地 滑走路
規 模 打上総数 約 6,000 発
主な花火 一尺五寸玉・芸協玉（尺玉）・尺玉・スターメインほか

【問い合わせ】

立川市産業文化スポーツ部産業観光課 担当：諸井陽子

TEL 042-529-8562

I. 立川まつり国営昭和記念公園花火大会 実施趣意

● “まち”づくりの進展とともに歩む立川の花火大会

立川の花火大会の開催は、昭和29年の第1回立川納涼花火大会以来、本年度で通算60回目となります。

この間、花火大会は交通量の増加により日野橋河畔から米軍立川基地へと場所を換え実施され、過去には基地返還等の理由から花火の打上ができない年もありました。

その後あらためて打上会場を設定し、昭和57年に「立川まつり花火大会」として復活を果たしました。

立川の花火は、立川のまちづくりとまちの発展とともに、その歴史を重ねてまいりました。

● “まち”の発展を支える花火大会へ

例年数多くのお客様を“まち”に迎えている本大会は、観覧場所や関係諸団体等の協力のもと、メイン会場である国営昭和記念公園内観客数が36万人を超え、JR立川駅付近及び、国営昭和記念公園の外周道路までを換算すると、一晩で85万人を超えるほどになり、JR立川駅をはじめ、宿泊施設、飲食店、花火大会に関連する商品を扱う商店など様々な業種への経済効果を生み出しています。

新しい交通機関や公共施設など、毎年のように都市基盤を拡充し、整備を続ける立川は、商業やビジネスの拠点性がさらに高度化することにより、昼間人口の増大や商圏の拡大を図ることが新たな課題となりつつあります。

広域から多数の動員を図ることができる立川最大規模の催事として、また発展著しい立川の魅力を伝える機会として、花火大会の開催は、将来に向けてますますその重要性が高まっているといえます。

●安全管理の徹底と継続開催に向けて関連団体との連携強化

立川の花火大会が、継続的に開催され、“まち”の発展にさらに役立つよう、今後もその運営については、実行委員会はもとより、国営昭和記念公園、近隣市、関係官公庁署、関係諸団体との連携をより一層深めることにより、無事故で安全な花火大会と関連事業の実施を図ってまいります。

II. 平成30年度 立川まつり国営昭和記念公園花火大会実施概要

1. 花火大会事業

名 称	立川まつり国営昭和記念公園花火大会
組 織	主 催 立川まつり国営昭和記念公園花火大会実行委員会 ※構成団体 立川市 立川商工会議所 立川観光協会 立川市商店街振興組合連合会 公益社団法人 立川青年会議所 国営昭和記念公園管理センター

共 催 国土交通省関東地方整備局国営昭和記念公園事務所
特別協力 陸上自衛隊立川駐屯地

開催日時 平成30年7月28日(土)午後7時20分～8時20分
【予備日：7月29日(日)】

場 所 観覧場所 国営昭和記念公園 みんなの原っぱ、ほか
打上場所 陸上自衛隊立川駐屯地 滑走路

規 模 打上総数 約6,000発
主な花火 一尺五寸玉・芸協玉(尺玉)・尺玉 スターメインほか

2. 立川まつり国営昭和記念公園花火大会実行委員会事務局

立川市曙町2-38-5 立川ビジネスセンタービル12階
立川商工会議所内
TEL 042-527-2700(代)
FAX 042-527-5913

◎重点事項

1. 安全な大会運営
2. 協賛事業所の拡充
3. 特別協賛者観覧席の継続実施
4. 募金活動の推進
5. 健全な花火大会の運営
6. 被災地応援企画の継続実施